

「自分の大切な人が亡くなったら？」を疑似体験 世界初！アートイベント『読むジュエリー展』開催 - ジュエリーを“見る”ではなく“読む”新体験 -

開催：2022年8月4日（木）～8月17日（水）／二子玉川 蔦屋家電 2F E-room2

仏事関連総合サービスの株式会社メモリアルアートの大野屋（東京都立川市、代表取締役社長 奥田実）は、2022年8月4日（木）～8月17日（水）の期間で、『読むジュエリー展』を二子玉川 蔦屋家電 2F E-room2にて開催します。

特設サイト：<https://story.souljewelry.jp/>



■ お盆の時期だからこそ“大切な人との別れ”を考えるきっかけに。読むジュエリー展開催

2022年3月に発表された厚生労働省の発表によると、日本の出生数が減り続ける中、死亡数は戦後最多を更新し、過去に例がないほど死が身近な社会になっています。コロナ禍においても自分や大切な人に突如として死が訪れるかもしれない怖さを多くの方が経験したのではないのでしょうか。また、コロナ禍でご実家への帰省ができないことで、大切な人が突然亡くなってしまうことへの不安を抱える方も多いのではと考え、お盆だからこそ“大切な人との別れ”を考えるきっかけになればと企画しました。

当社はこれまで、葬儀や墓石の販売だけでなく終活などを幅広くサポートし、大切な人との死別によって悲しむ方々の心を癒すことを使命として、さまざまなご提案をまいりました。

その中で2010年に生まれた商品が、故人の遺骨を美しいジュエリーに収納していつも身近に感じることができる「ソウルジュエリー」です。遺された方（身に着ける方）にとって大切な人そのもの、唯一無二のジュエリーには、故人との大切な思い出や絆の「物語」があります。ご購入いただいた方からは、想いのこもった「エピソード」をこれまでにたくさんお寄せいただいています。こうした「物語」「エピソード」を通じて、自分の大切な人に死が訪れた時、果たして人がどのような心境になり、どのように乗り越えていくのか、その一連の心の動きを多くの方が追体験することができれば、“喪失”から前を向くためのサポートに繋がるのではと考えました。

今悲しみを抱えている方へ、または、これからの人生への心構えとして、多くの皆様に、想いを感じていただけたらと、昨今注目されている「大人のための絵本」というかたちで、表現しました。入口でジュエリーの写真を眺めたあとに絵本を読み、そして会場に展示されている実物のジュエリーを見た時、きっと最初の印象とは大きく異なる気持ちを体験いただける、それが『読むジュエリー展』です。

- ①世界初、ジュエリーを“見る”ではなく“読む”新体験
- ②大切な人の“喪失”と悲しみを乗り越える“希望”への心の移り変わりを、大人の絵本から疑似体験
- ③絵本『かけら』の世界観を再現！原画約40Pとソウルジュエリー&寄せられたエピソードを展示

■ ソウルジュエリーとは

亡くなった方の遺骨や遺灰の一部を少量納めることができるジュエリーです。大切な方の遺骨の一部を小さな容器に納めて自宅の寝室やリビングルームなど身近に置いたり、ジュエリーに納め毎日身に着けたりすることで、大切な方との絆を感じることができる「手元供養」が、新たな選択肢として定着しつつあります。当社では、身に着けるジュエリータイプの「ソウルジュエリー」、デザインされた小さな骨壺「ソウル プチポット」「ソウルステージ」の3ブランドからなる「ソウルシリーズ」として、直営店とオンラインストアで販売。全国の葬儀社・石材店・仏壇店にも卸販売を行っております。累計販売個数は13万個を突破、2021年の販売個数は2010年の約10倍を記録しています。

近年の人々の生活スタイルの多様化によって、葬送の形式も従来の宗教・慣習にとられない様々なかたちが求められるようになり、特に「核家族化」の影響によって、一緒に暮らしていた家族を供養する意識＝「供養のパーソナル化」が進行していることが、「手元供養」の需要が伸びている要因の一つです。



■ 喪失に向き合う絵本『かけら』



喪失の悲しみから、どのように心が変化していくかを描いた物語で、「悲しみは乗り越えることができる」という前向きなメッセージと希望のこもった作品です。ソウルジュエリーに収めるご遺骨を「かけら」と表現し、大切な人を亡くした女性のその後を描いた、共感いただける物語です。

<あらすじ>

「たいせつな人が、旅立った」。遺された女性の物語。
後悔ばかりの日々と、
何をしても「一緒にいてくれた人は、もういない」
「夢で会えたらいいのに」という辛い日常。
そんな中、向かった森の中で出会った人は。
辛い日常が変わるきっかけとなったものは。

<展示について>

『かけら』の原画、ソウルジュエリーと購入頂いた方から寄せられたコメントを展示します。会場は、『かけら』の世界観を再現しています。

※ 絵本は、毎日数量限定で先着にて無料配布します（上限に達し次第終了。）

■ 開催概要

名称 : 読むジュエリー展
開催日時 : 2022年8月4日(木)～8月17日(水)
11:00～18:00 ※8月4日(木)のみ12:00 OPEN

会場 : 二子玉川 蔦屋家電 2F E-room2
〒158-0094 東京都世田谷区玉川1丁目14番1号二子玉川ライズ S.C.テラスマーケット
(東急電鉄 大井町線・田園都市線「二子玉川駅」徒歩4分)

主催 : メモリアルアートの大野屋

入場料 : 無料
会場内で「読むジュエリー展」特設サイトから、絵本の感想を投稿いただくと、今回制作した絵本『かけら』を来場特典として無料でプレゼントいたします。
(上限に達し次第終了)

特設サイト : <https://story.souljewelry.jp/>

SNS : Instagram (@souljewelry_jp)

<販売について>

会期中、ソウルジュエリーの販売は行いません。
担当スタッフにお声がけいただければ、
販売サイト・取り扱い店をご案内します。



■会社概要：メモリアルアートの大野屋

メモリアルアートの大野屋は、1939年に石材店として創業以来80年以上にわたり、お葬式、お墓、手元供養、無料仏事相談など、仏事に関する総合サービスを提供しています。さらに、ペットと一緒に入れるお墓「ウィズペット」や、「手元供養商品：ソウルジュエリー」など、先進的な取り組みを続け、お客様起点のサービスを開発し続ける仏事関連総合サービスです。

HP : <http://www.ohnoya.co.jp/> FB : <http://www.facebook.com/ohnoya>

設立 : 1939年3月(昭和14年)
資本金 : 1億円
決算期 : 12月
代表者 : 代表取締役 会長/最高経営責任者(CEO) 大澤 静可
代表取締役 社長/最高執行責任者(COO) 奥田 実
所在地 : 〒190-0012 東京都立川市曙町2-22-20 立川センタービル9階
事業内容 : 墓所・墓石の販売
墓所造営 葬祭業
仏壇・仏具の販売
保険

◇ 本件に関するお問い合わせ先 ◇

メモリアルアートの大野屋 広報事務局(KMC group内)

担当：丸橋・細井

TEL : 03-6261-7413 FAX : 03-6701-7543 Mail : info@kmcpr.co.jp